※令和３年度以前入学生用

５　保健体育

学校番号	T2101

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	（併）体育ｉ	単位数	２	年次	２～４年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版　（大修館）						
副教材等	ステップアップ高校スポーツ　（大修館）						
レポート	６通		スクーリング	１６回（内２回は定期考査）			

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目は併修の科目になっており、体育理論、スポーツのルールを中心とした座学の授業となっています。
・実技はありませんが、レポートが毎授業あるので全部提出する必要があります。欠席することなく授業に参加し、レポートを仕上げていくことが単位修得に向けて大切なことです。
・スポーツの特性やルールを覚えて、「する・みる・支える・知る」といった価値や文化的意義、実践や観戦を通して楽しめるようにしましょう。

２ 学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康･安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期(4月・5月)	体育理論	運動･スポーツの文化的特徴 ・人間にとって「動く」とは何か ・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ ・オリンピックと国際理解 ・スポーツと経済 ・ドーピングとスポーツ倫理		○	○	a:スポーツの歴史、文化的特性について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b:スポーツの歴史、文化的特性について、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 c:スポーツの歴史、文化的特性について、言ったり書きだしたりしている。	プリントやレポートなどの提出物 受講中の態度
前期(5月)	体育理論	運動・スポーツの学び方 ・スポーツの技術と戦術 ・技能の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム ・技能と体力 ・体力トレーニング ・運動やスポーツでの安全の確保		○	○	a:現代のスポーツの特徴や安全確保について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b:現代のスポーツの特徴や安全確保について、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 c:現代のスポーツの特徴や安全確保について、言ったり書きだしたりしている。	プリントやレポートなどの提出物 受講中の態度
前期(6月)	体育理論	豊かなスポーツライフの設計 ・生涯スポーツの見方・考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ ・日本のスポーツ振興 ・スポーツと環境		○	○	a:生涯スポーツ、スポーツ振興や環境について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b:生涯スポーツ、スポーツ振興や環境について、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 c:生涯スポーツ、スポーツ振興や環境について、言ったり書きだしたりしている。	プリントやレポートなどの提出物 受講中の態度 定期考査

※令和３年度以前入学生用

前期（6月・7月）	体育理論	スポーツの魅力とルール ・器械体操 ・陸上競技 ・水泳 ・バスケットボール ・ハンドボール ・バレーボール ・サッカー ・ラグビー ・バレーボール ・テニス ・卓球 ・バドミントン ・ソフトボール ・ゴルフ ・柔道 ・剣道 ・ダンス	○	○	○	a:スポーツの歴史、特徴やルールについて、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b:スポーツの歴史、特徴やルールについて、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 c:スポーツの歴史、特徴やルールについて、言ったり書きだしたりしている。	プリントやレポートなどの提出物 受講中の態度 定期考査
後期は実施しない							

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断　　c:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。